瑞穂中学校だより

【学校教育目標：ふるさとを愛し
心身ともにたくましく 主体的に学ぶ生徒の育成】

令和5年7月11日（火） NO. 13 文責：校長 柏原 哲郎
HP アドレス https://www.unzen.ed.jp/mizuhochu

長崎っ子の心を見つめる教育週間(その三)

○ 3年生の振り返り

・心はもろくて、すぐに折れてしまうけど、立ち直ることができるので、人間はすごく強い生き物なんだと思った。心を見つめることを普段は全くしないので良い機会になった。
・今日の話を聞いて、また自分を見つめ直してみると、普段自分の考えていることについて目を向けたことがなかったので、意外と自分自身で考えていることについて深く考えることができた。
・今日聞いたことを機に、毎日自分の心に向き合って、今後の人生を楽しめたらなと思いました。
・心は人それぞれ違うし、無理に他人に合わせなくても良いと思いました。
・自分の中で「心」は木みたいだと思いました。心の色は天気や環境の変化で強い衝撃を受けた時に木が折れるように心も折れると思います。自分の心も人の心も大切にしたいです。
・やっぱり心の中は見えないもので、赤く、丸いもので、気持ちの雫が落ちると心の中で波紋ができ、丸くなって人間の心は作られていると思った。気持ちの持ちようで、気分が変わったりするときもあるから、その時は気持ちを落ち着かせて、リセットしてから気持ちを受け取ると、物の状況判断が早くなると思いました。
・過去に生き残ってつなげられた命は粗末にしてはいけないと思った。
・心を見つめることは、自分に寄り添ってみて、自分が今どんなことを思っているか、考えてみたり、相手の気持ちを考えて発言したり行動したりすることだと思いました。
・自分の弱さが分かった。自分の心の形はウニみたいで、中に小さく丸があり、白とピンクみたいでトゲに覆われている自分が見えた。面白かった。
・人の命も大切だけど、やはり一番大事なのは自分の命だと思いました。心はいろいろな形、色があり、それは自分の感情によって変化していくんだなあというのを考えていました。
・心の形や色は人それぞれだと思いました。そして、心が折れた時には元の心の形に少しずつでも良いから直していけたら良いと思いました。
・考え方や言葉の捉え方は人それぞれだから、言葉選びや言い方を気を付けようと思いました。自分も思い込んでいるだけで、自分の心は傷ついている時があるかもしれないので、きちんと自分に向き合う時間などを取ろうと思いました。
・人それぞれ自分の意思があったし、自分も考えてみて色んな考えが浮かんできたから、少し落ち着いて考えたり、相手に合わせていたところもいくつかあったので、自分の意思をみんなの前で出せるようにしていきたいと思いました。
・人それぞれ心の形や色の感じ方があることが分かりました。自分の心を見つめてみて、気分によって形や色が変わるなあと改めて考えさせてもらえた授業でした。最近では、長崎っ子の学習が浸透してきたのか、長崎県での殺害のニュースは見ないけど、日本として考えると、まだまだ殺害が起こっているので、いろんなところに広まったら良いなあと思いました。

・私はちゃんと自分の心を見つめてみて、友達など相手の気持ちや心を見つめたいと思いました。
・心の形や心の色は人それぞれ違う。心にも個性がある。
・私は今日のことを聞いて、心を見つめるのはとても大切だと思い、感じました。心を見つめるとは、自分の気持ちを考えることだと思って、これからはしっかりと自分と向き合っていきたいと思いました。そして、辛い時は人に相談したりして、解決しても良いと思います。
・今までの自分の良い点、悪い点を振り返り、それをこれからの生活で改善していくことまでが「心を見つめる」ということだと思いました。今、私は親と喧嘩しているので、自分の悪かった点を見つめ直して、謝って、仲直りができたら良いなあと思いました。
・最近は喜怒哀楽が激しかったので、心が色々な形になっていました。でも、心を見つめればそれでも良いんだと思えました。人の意見に流されず、自分の思ったことを貫き通そうと思います。逆に、相手の心を見つめて、相手の意見も受け入れられたら良いなあと思います。
・心の形や色、場所が皆それぞれ違って、やっぱり一人一人感じ方は違うのだろうなと感じた。これから社会に出て自分と違う人と一緒に生きるような人になりたいと思った。
・人の考えは一人一人違うけど、自分の考えでなく他人の考えも受け入れる必要がある。自分の思った意見には、もう少し自信を持って良いと思った。
・自分の心の色や形はいろんなものがあると思います。人にも心の色や形もあると思います。だから、相手の気持ちも分かってあげたいです。そして、自分の意見が相手と違っても譲り合ったりして、喧嘩をしないようにしていきたいです。
・3年生になってからいろんなことが重なって疲れたとか辛いなと思うことがあり、もし自分の心の形を示すなら…で真っ黒だなと思いました。相手のことなどを思うことは大切だけど自分のことを考えなきゃ疲れてしまう、と感じました。私は相手のことを考えるのではなく、自分のことを一番分かっている自分のことを一番考えた方が良いと考えました。
・心にはいろんな形があるから、折れたり、傷ついたりするけど、嬉しくなったり、楽しくなったりすると丸だったりの形になるから、優しい人になるためにも綺麗な心で綺麗な形で過ごしていきたいです。
・心を見つめることで自分がこれからどのような生き方をしていくのか考えられることができるから、自分の成長に繋がると思う。一人一人が心を見つめることでこの中学校がとっても良くなると思った。
・生きている一人一人の心の在り方はそれぞれ違う。だからこそ、一人一人の心の中を見つめて、それぞれに合った接し方をしなければいけない。一人一人考え方が違うからこそ、その人の考えも尊重していかなければいけない。
・自分の心を見つめてみたら、いろんな思いが積み重なったような状態になっているんじゃないかと感じました。15年歩んできた人生で感じた気持ちが全て合成されて一つの「心」というものができていると思いました。
・「自分の心を見つめる」ということはあまりしないので、意外と難しかったです。自分がめざす心を見つけて自分の心はどんな形で、どんな色で、どんな状態かを言えるようにしたいです。
・自分のことが良く分かるようになりました。自分の態度や自分の好み、色など、いろいろなことが分かるようになりました。
・自分の心は毎日毎日成長するけど、その分、悪くもなっていることに気づきました. 本当に成長するには悪い心を消すことが今後大切だと知りました。
・命の大切さなついて改めて考えることができました。人それぞれの心のイメージが違うことが分かりました。違うからこそ相手のことを良く知ることが大切だと考えました。
・その時によって心の色や形が変わるけど、優しい心は忘れずに、今後、友達や親と生活していきたいです。

・今日の話で命に関わる事件や心について学びました。命は一人一つなので改めて大切に、大事にし、生活していこうと思いました。いじめなどで自殺をするかもしれない。これも命に関係があると思うので、困っている人がいたら助けようと思いました。これから大切に生きていこうと思いました。
・自分の心を見つめてみて、自分がやってきたこととかやろうと思ったことが正しいのかなどを考え直すことができました。今日の授業で自分の最近の心で改善すべき点などが良く分かりました。
・私は心の形や色について詳しく考えたことはなかったけど、色々な人の話を聞いて「心」というのは人それぞれだと思いました。人の心を理解することは簡単ではないけど、人の気持ちを大切にしていきたいです。
・今日、自分の心を見つめてみて、自分が楽しい時や嬉しい時、悲しい時や辛い時に相手はどんな気持ちを持っているのだろうと思いました。相手の心に無理がないように、やっぱり自分だけでなく周りの人の心も見つめることが大切だと感じました。
・心は一つじゃないし、自分が持っている心はたくさんあるんだなと思いました。感情で心の色や形が変わって心ってすごいなと思ったし、面白さを感じました。自分の心についてもっと見つめていきたいなと思いました。心は考えれば考えるほど面白いなと思いました。
・心の形も色も人それぞれで、心に対する考え方もみんな違うけど、みんなそれぞれ心を持っていることは同じなので、それぞれの考え方を認めて、一人一人の心を共有できたら良いなあと思いました。
・心には形も色も定まっていなくて、人それぞれ全く別の心を持っているのではないかと考えました。なので、生活していく中で色んな意見が割れたりすると思うけど、それも個性で、尊重しなければならないことだと思いました。たくさんの考えが世の中にあるからこそ、犯罪が起こってしまうのかもしれないけど、心を見つめればそれも少なくなると思います。
・今日の授業を受けてみて一番印象に残っていることは「4つの命」が心に残りました。命には限りがあり、受け継がれていくもの、かけがえのない大切なものなので、命を大切にしていくことの大切さを改めて考えさせられました。これからは、自分だけではなく、たくさんの人々を幸せにできるような存在になりたいと思いました。

今回は3号にわたり全校生徒の振り返りを紹介しました。我が子の振り返りが気になるところかもしれませんが、これまでの振り返りをもとに家庭でも「心を見つめる」ことを話題の1つにしていただければ幸いです。また、7／7（金）の授業参観には約 55 名の保護者の方の来校がありました。世帯数の半数以上の数となり大変ありがとうございました。1、2 年生は道徳の授業として命に関する内容を学習しました。3年生も命に関わる「デート DV」についての講話を受講しました。保護者の方も授業・講話を通した我が子の学びの姿や考えを知る機会にもなったことだと思います。このことも、当日夜の話題の1つにしていただき、親子・家族で命について考える時間となったのではないでしょうか。

全校道徳の４択問題で、生徒が自分の考えた番号の前に移動しているところです。

3年のデートDV講話の中で、寸劇している場面です。好評でした。

2年の救急救命教室の中で、その手順に添って頑張っている姿です。